

日時：令和6年9月4日（木）18:00～20:00

場所：オンライン会議

出席：玉腰、秋葉、磯、井上、瓜生原、金子、川上、小林、後藤、田高、田淵、中村、野原、芳賀、橋本、東、森（敬称略）

欠席：今中、久保庭、田中、多屋、野口（敬称略）

議題：

1) 人材育成について

資料にもとづき、話題提供があった。主な質疑・意見等は以下のとおり。

話題提供

：「公衆衛生人材育成：看護職（保健師、助産師、看護師）をめぐって」（田高委員）

主な質疑・意見等

- ・看護職養成の今後の方向性は？→これまでのところ、国としてどう考えるのかという根本的な議論が少ないまま、その時々¹の社会的状況、特に量の不足に対応する方向性で養成され、結果多様になったように見える。今後は多様性の質の担保と国の方向性の明確化が必要。
- ・保健師、助産師養成は高度化したか？→保健師、助産師の養成は、大学院、学部、大学専攻科、1年課程の専門学校と今なお多様であり、看護系大学のおおよそ7割は学部教育であることを国がどう考えるか。教育の質の高度化は社会的需要の観点から必要。
- ・そもそも公衆衛生人材とは何か？→定義？根拠法？資格？試験？業務？保助²の看護職からみても多様で幅広い。公衆衛生の実務を担う者と研究・教育を担う者の観点から考えてみることも必要。

2) 喫煙対策について

資料にもとづき、話題提供があった。主な質疑・意見等は以下のとおり。

話題提供

：「健康経営の展開と喫煙対策の位置づけ」（森委員）

主な質疑・意見等

- ・喫煙対策の必要性、喫煙の有害性、についてはすでに社会的にも知られているように思われる。今期、日本学術会議として実効性の観点から、誰に何をどのように提言していくべきか。
- ・喫煙対策の用語については一般に知られたが、健康経営については必ずしも十分とは言えない。健康経営とは何か、人的資本を如何に豊かにするかの本質から提言してはどうか。
- ・企業経営者は健康経営には敏感で、むしろ企業経営にかかわるアカデミアには鈍いところもある。それらもターゲットにより広く認知させてはどうか。
- ・加熱式煙草問題については今なお、実態把握がなされていない。十分な実態把握（モニタリング）を進めることについての提言も必要。
- ・意志の発出に際しては、～すべし、すべきという一方的な表現ではなく、両論的、柔軟性をもった表現がよい。

3) 今期の進め方について（玉腰委員長）

- ・「喫煙対策」については何らかの意思の表出を目標に、田淵委員を中心に執筆を進めていきたい。
- ・「人材育成」については10月30日（水）（札幌）でのシンポジウムを踏まえ検討していきたい。

4) その他（次回）

10月30日（水）ハイブリッド開催（札幌コンベンションセンター＋オンライン）

11:20－12:00 分科会

15:25－17:00 シンポジウム「サステナビリティな社会を創るために公衆衛生はどうあるべきか」

以上